

# 戦 評 用 紙

平成 29 年度 関東高等学校バスケットボール大会  
埼玉県予選会

平成 29 年 5 月 20 日

会 場 越谷市立総合体育館

Fコート第 1 試合

対 戦	昌平 高校	5 - 18	埼玉栄 高校
	39	20 - 8	59
		6 - 23	
		8 - 10	

第 1 P スタートは昌平 # 5・6・12・13・14 埼玉栄は # 4・5・7・16・17。  
昌平はハーフコートマンツーマンディフェンス、埼玉栄はオールコートマンツーマンディ  
フェンスでゲーム開始。先制点は埼玉栄 # 5 のゴール下のジャンプシュート、続いて # 7  
のゴール下のジャンプシュート、ファウルをもらいフリースローを 2 本決める。埼玉栄の  
勢いは止まらず、スクリーンを使って # 7 のドリブルシュート、# 17 のリバウンドシュ  
ートと得点を重ねていく。一方、昌平はハイピックから攻め込みたいが、ディフェンスを  
崩しきれず、体勢が整わないドライブや 3 p で得点に結びつかない。何とか得点したい昌  
平は # 5 が 3 p を打つが決まらず、残り 6 分 20 秒、昌平がタイムアウトをとる。昌平ボ  
ールから開始。昌平 # 12 のジャンプシュート、# 5 の 3 p、# 14 のジャンプシュート  
は惜しくもリングに嫌われてしまい、なかなかリズムにのれない。残り 3 分 26 秒、昌平  
# 14 のジャンプシュートが決まり初得点となる。更に # 12 の 3 p が決まり、5 - 18  
で終了。

第 2 P お互いにディフェンスは変わらず。点差を縮めたい昌平は、# 14 のジャンプシ  
ュートで先制し、# 5 のスティールから # 15 の 3 p と連続得点となり 1 桁差とする。埼  
玉栄は 6 分 52 秒、# 7 のリバウンドシュートが初得点するも、昌平のタイトなディフェ  
ンスになかなか切り込めない。お互いにスクリーンプレイからのジャンプシュートの打ち  
合いとなる。昌平の # 5 の 3 p、# 15 のドリブルシュートが決まり、徐々に得点をつめ  
ていく。埼玉栄は # 4 のセンタープレイや、# 7 のリバウンドシュート、# 14 のドラ  
イブで応戦。25 - 26 で終了。

第 3 P お互いにディフェンスは変わらず。このまま勢いにのりたい昌平だが、埼玉栄の  
激しいディフェンスを崩しきれず、なかなか得点に結びつかない。一方埼玉栄は # 4 のド  
ライブ、ジャンプシュート、# 7 のジャンプシュート、センタープレイ、# 5、# 16 の  
ドライブが決まり、点差を広げていく。追いつきたい昌平は、残り 4 分 38 秒昌平 # 5 の  
3 p が決まるもののペースがつかめず、31 - 49 で終了。

第 4 P 埼玉栄の # 17 のゴール下のシュート、# 16 のジャンプシュートが決まり、埼  
玉栄のペースから始まる。昌平は 2 回のタイムアウトをとり、流れを変えたいが、# 14、  
# 5 のシュートが決まらず、重たい。メンバーを入れ替えて、リズムを変えようとするが、  
埼玉栄のプレッシャーに対してなかなかリズムをつかむことが出来ない。昌平 # 5 の 3 p、  
# 14 のドライブが決まるものの、タイムアップ。39 - 59 で終了。

(記録者： 川越市立川越高校 渡邊 恵理 )